

時	ねらい	学習活動	評価規準・場面・方法	資料および指導・援助
1	福岡県について知っていることや既習の内容を発表し、福岡県についての統計資料から福岡県の地域的特色を発表し合い、テーマを決めて追究する視点を持つことができる。	<ol style="list-style-type: none"> 福岡県について、知っていることを発表する。 ・大宰府 ・八幡製鉄所 ・博多 統計資料から、福岡県の特徴を考へる。 福岡県について統計資料からわかることを調べよう。 ・福岡市と北九州市の2つの100万都市を県内にかかっている。 ・九州の他県より、人口がはるかに多く、増加率も高い。 ・工業生産額が多く、盛んに行われている。 単元を通して、追究するテーマを決める。 単元を貫く課題 どうして福岡県は、さまざまな点で九州地方の中心になっているのだろう。 ・歴史的な背景という視点から追究する。 ・現在の福岡の様子という視点から追及する。 ・諸外国との交流という視点から追究する。 	<p>ア - 県別統計からつかんだ福岡県の特徴を、テーマを1つ決めて、探求の見通しを持ち、意欲的に追究しようとする。</p> <p>場面 ・学習活動3の後 ・授業後</p> <p>方法 ・ノートへの記述</p>	<p>「大宰府・八幡製鉄所パネル」 「日本のおもな都市」 「九州各県の人口変化」 「都道府県統計」 (教科書) キーワードや難解な語句の意味について補足し、適切に資料を読み取れるよう援助する。 援助：統計資料の着眼点がしぼりこめない生徒については人口数に着目させ、全国順位と九州第二位の熊本県との差を読み取らせる。</p>
2	福岡県は古い歴史を持ち、昔から中心地として栄えてきたので、現在も九州地方の中心地としての役割を果たしていることを理解することができる。 年表や写真・絵図を有用に活用し、福岡県の中心地性を説明することによってどのような資料がふさわしいか考えることができる。	<ol style="list-style-type: none"> 年表で福岡県に関することを探す。 ・大宰府 ・元寇 ・博多商人の町 ・八幡製鉄所 ・北九州工業地帯 古くから栄えている理由を考へる。 どうして福岡(博多)は古くから栄えていたのか。 ・大陸との結びつき ・八幡製鉄所の建設 ・燃料となる石炭を産出する炭田 ・エネルギー革命に対応した新しい工業への転換 歴史的な背景から、福岡県が中心となって栄えてきたことをまとめる。 ・大陸との結びつきが強く、朝鮮半島や中国から大陸文化が真っ先にもたらされた。 ・近代工業発展の先駆けとして八幡製鉄所が建設され、筑豊炭田が燃料供給地としてあった。 ・素材産業型から自動車産業・ソフトウェア産業への転換を図り、新たな産業へと進んだ。 	<p>イ - 資料を的確に読み取り、福岡県が歴史的にどう発展してきたかを、「古代・中世における大陸との交流」「明治における近代工業の発展」「現在の新たな産業への転換」という視点から記述できる。</p> <p>場面 ・学習活動2の後 ・授業後</p> <p>方法 ・ノートへの記述</p>	<p>「歴史年表」 パネル 「江戸時代の博多」 「八幡製鉄所」 地図帳「北九州工業地帯の変化」 パンフレット「わたしたちの福岡県」 各資料の単位、年次、項目内容に注意して、資料のどこに着目して読み取るかを助言する。 援助：福岡県の位置的優位性に気付けない生徒については、地図帳で、福岡市とソウル・東京との距離を比較させる。</p>
3	福岡県が政治・経済・文化の中心地としての働きをしているので、人々が福岡県に集まってきたことを資料をもとに考へ、自分の考へを説明することができる。	<ol style="list-style-type: none"> 三大都市圏の地図から、福岡県が遠く離れたところに位置することを確認する。 九州地方の人口移動の図を見て、わかることを発表する。 ・福岡県に、他県から人口が集まってきた。 福岡県に人口が集中する理由を考へる。 福岡県には、なぜ多くの人々が集まってくるのか。 ・九州・四国地方の中心地的な都市 ・企業の支社・支店が集まる。 ・国の出先機関がある。 福岡県に人々が集まる支えとなっているものは何かを、資料をもとに班で説明する。 ・ものや情報など中心地としての機能をもっているから。 ・三大都市と変わらないほど、ものや情報がある 	<p>イ - 人々が集まる理由を、写真や図など複数の資料から事実を2つ読み取り、理由をつけてわかりやすく説明できる。</p> <p>場面 ・学習活動4の後</p> <p>方法 ・発言内容</p>	<p>「三大都市圏図」 「人口移動図」 「主要官公庁分布図」 「支社・支店の集まる福岡市写真」 (写真) 資料の情報を整理し、効果的にまわりに説明する方法について援助する。 援助：資料から理由を見つけることができない生徒には、写真資料から読み取れることをノートに書き出させるその意味を考えさせる。</p>
		福岡市や北九州市には、国の出先機関や企業の支社・支店があり、情報やものが豊富にある。この地方の中心地としての機能をもっているから、多くの人々が集まってくるのだな。		

時	ねらい	学習活動	評価規準・場面・方法	資料および指導・援助
4 多 彩 な 交 流 の 拠 点	福岡県が韓国・中国などのアジア諸国との交流を拡大し、九州・西日本・アジアにおける交流拠点をめざして、一層の発展を図ろうとしていることを理解することができる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. アジアの国々の人々との交流の様子をつかむ。 ・福岡県民の渡航先は、韓国が1位・中国が3位。 ・福岡空港からの入国者は、韓国・台湾・中国で7割をこえる。 2. アジアの国々と福岡県の間で、人の行き来が多い理由を考える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">多くのアジアの人々が福岡に集まるのはなぜだろう。</div> ・距離的に近く、特に韓国からは東京より短い時間で来ることができる。 ・福岡空港から、多くのアジア行き国際線がある。 ・領事館など多くの外国施設があり、福岡県も国際交流に積極的に力をいれている。 3. 福岡県がアジアの国々との交流を通して、国際交流の拠点をめざしていることをつかむ。 	イ - 福岡県にアジアの人々が集まる理由を、「所要時間の短さ」 ・「国際線の行き先」・「外国の施設」から考えて、記述できる。 場面 ・学習活動2の後 ・授業後 方法 ・ノートへの記述	グラフ「福岡県民の渡航先」・「福岡空港から入国した外国人の国別割合」 「福岡と各地までの所要時間」 地図帳「福岡市中心部」 援助：福岡県が進んで国際交流を進めていることがつかめない生徒には、福岡県のホームページに中国語・韓国語版があることに着目させる。
		アジアとは地理的にも近いし、多くの外国人が福岡を訪れるため、利用しやすいように県が積極的に整備を行っているのだな。国際交流を通して福岡県はどのような県づくりをめざしているのか調べてみたい。		
5 多 彩 な 交 流 の 拠 点	福岡県が九州・西日本・アジアにおける交流拠点をめざして、一層の発展を図ろうとしていることに関して必要な情報を収集し、自分の考えをまとめ、表現することができる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 福岡県の進める国際交流の内容を調べる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">福岡県が進める国際交流は、どのようなものなのかレポートにまとめよう。</div> ・姉妹提携都市 ・留学生の受け入れ ・修学旅行・諸団体による韓国との交流 ・産業・学術研究による人材育成・技術協力 ・国際会議や国際文化イベントの開催 2. 調べたことを整理し、自分の考えを加えてレポートにまとめる。 3. レポートを交流し、福岡県が国際交流を通してめざす将来像を理解する。 	ウ - 福岡県の国際交流に関する多くの情報を選択して収集・整理し、聞く側に分かりやすいように表現する方法を検討し、レポートにまとめることができる。 場面 ・学習活動2の後 ・授業後 方法 ・レポートへの記述	インターネット「ふくおかデータウェブ」 ・出身地別留学者数 ・福岡県民の渡航先 福岡県政のしおり アジアマンス 援助：県勢のしおりやインターネットによる情報の解釈が難しい生徒には、交流にたずさわった人々の言葉から、現地の人々の思いを読み取らせる。
		福岡県は、距離的な近さを生かし、古くからアジア諸国とのつながりが強かった。これからも、様々な分野でアジアとの連携を広げながら、新しい交流の拠点をめざしている。そして、アジアの人々と共生しながら、21世紀に向かって活気あふれる新しい県づくりを創り上げようとしているのだな。		
6 福 岡 県 の イ ラ ス ト マ ッ プ	福岡県の地域的特色を地図に表すことで、地域的特色をとらえる視点と方法を確認できる。	<ol style="list-style-type: none"> 1. 今まで調べてきたことをもとに、福岡県のイラストマップをつくる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">私だけの福岡県イラストマップをつくらう。</div> ・調べたことをもとにタイトルをつける。 ・略地図にイラスト・グラフ等も必要に応じて書き加える。 ・大陸との位置関係・交流の歴史なども工夫して記入する。 ・単元をつらぬく課題である中心地性が表れるように意識して記入する。 	エ - 福岡県が九州地方の中心として栄え、現在も九州の中枢都市である理由を、歴史的な背景、現在の県の様子、諸外国との交流から理解することができる。 場面 ・学習活動1の後 ・授業後 方法 ・イラストマップへの記入	今までの資料 白地図 調べた内容の項目をもとに、グラフや記号を用いて地図に記入するように助言する。 援助：様々な内容を盛り込みすぎる生徒については、既習の内容を振り返らせ福岡県を特徴づけるものは何であったか想起させる。
		古くからの歴史的な中心地、現在における人・もの・情報などの中心地、外国との交流における中心地である福岡県の姿が、資料や自分で制作した作品から見えた。そこだけにある独自性や優位性を生かした県づくりは、他の県でも見られそうだな。		